

広島県経済の動向

令和4年9月15日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
	1 国内経済の動向	
	2 広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
	1 鉄鋼	
	2 自動車	
	3 造船	
	4 一般機械	
	5 電気機械	
III	中小企業の動向	5
	1 概況	
	2 景況感・景況感の変化	
	3 前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
	1 概況	
	2 業種別	
	3 原因別	
	4 今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
	1 県内の有効求人・求職の動向	
	2 県内の新規求人・求職の動向	
	3 県内の人員整理の状況	
	4 完全失業率の状況	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	6月	7月	8月
基調判断	景気は、持ち直しの動きがみられる	景気は、緩やかに持ち直している	
輸出	おおむね横ばいとなっている		
生産	持ち直しの動きに足踏みがみられる	持ち直しの動きがみられる	
設備投資	持ち直しの動きがみられる		
雇用情勢	持ち直しの動きがみられる	持ち直している	
個人消費	持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している	
住宅建設	底堅い動きとなっている		
企業収益	一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している		

(2) 先行き

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等に十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和4年8月25日公表）】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	5月	6月	7月
基調判断	下押し圧力は残るものの、緩やかに持ち直している		緩やかに持ち直している
輸出	供給制約の影響から、持ち直しが一服している		供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直している
生産	足もと供給制約の影響がみられているものの、全体としては持ち直している		供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直している
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	一部に改善の動きがみられるものの、全体としてはなお弱い動きが続いている		一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに改善している
個人消費	下押し圧力は残るものの、持ち直しつつある		持ち直しつつある
住宅投資	横ばい圏内で推移している		

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症や供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」(令和4年8月3日公表)】

9月については公表無し。

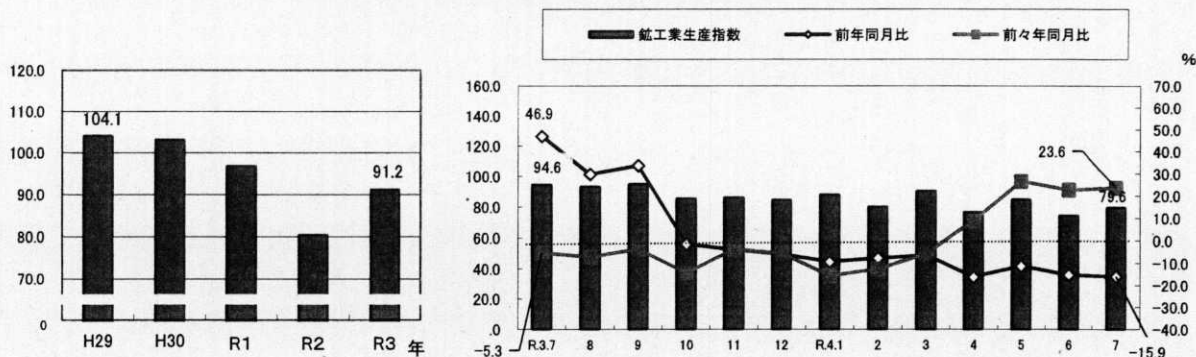
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和4年7月)

7月の鉱工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は79.6で, 前年同月比で15.9%減少, 前々年同月比23.6%増加となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

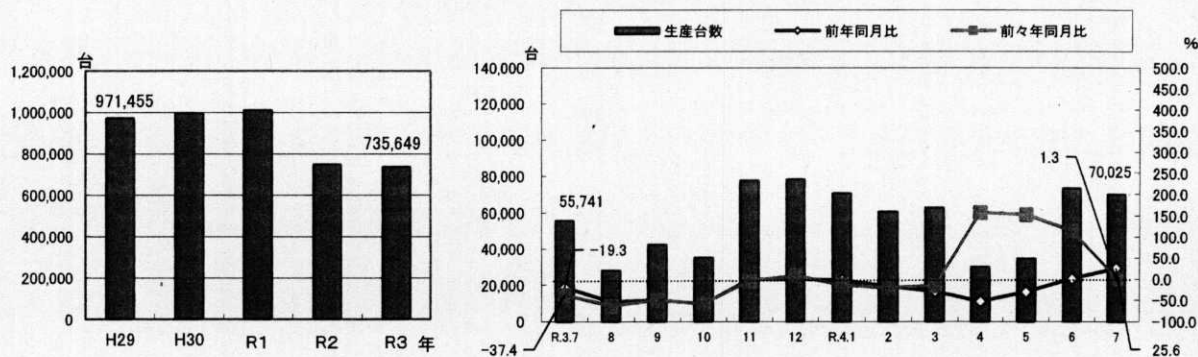


2 自動車(令和4年7月)

7月の国内生産台数は70,025台で, 前年同月比で25.6%増加, 前々年同月比1.3%増加となっている。

自動車生産台数(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

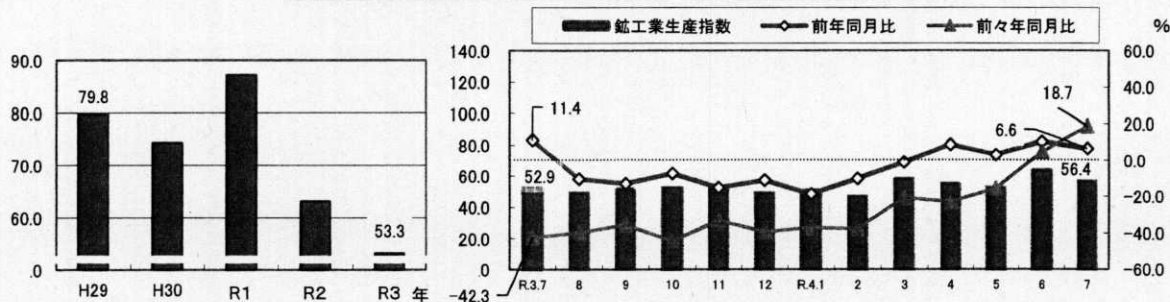


3 造船(令和4年7月)

7月の鉱工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は56.4で, 前年同月比で6.6%増加, 前々年同月比18.7%増加となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

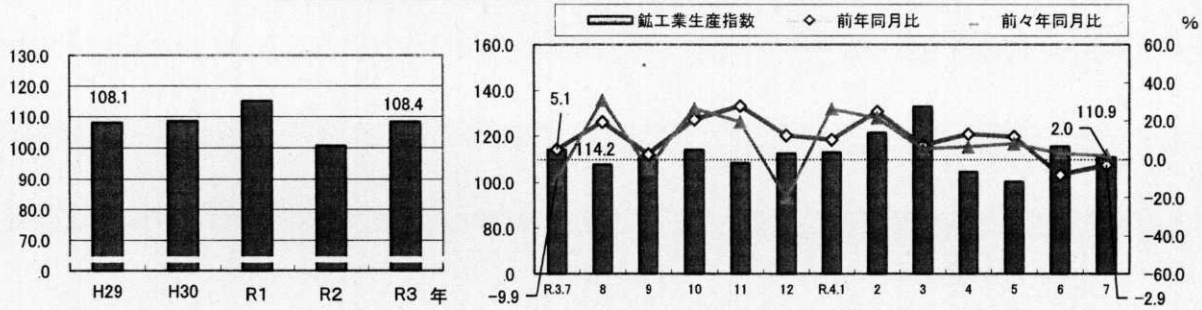


4 一般機械(令和4年7月)

7月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は110.9で, 前年同月比で2.9%減少, 前々年同月比2.0%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

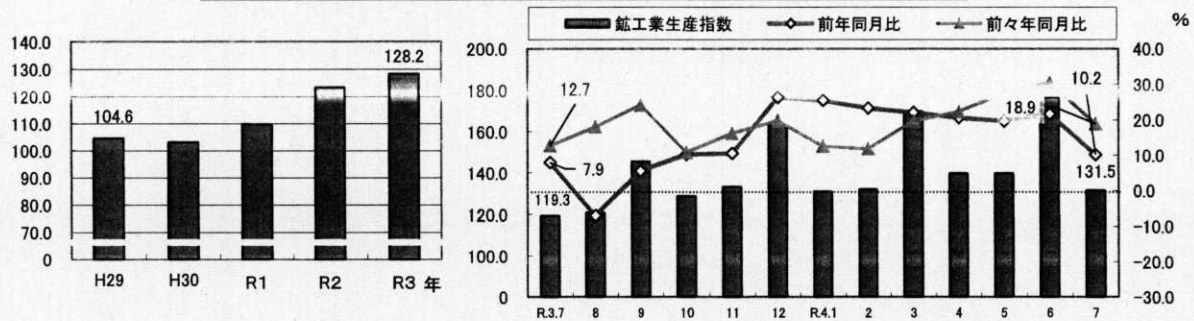


5 電気機械(令和4年7月)

7月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は131.5で, 前年同月比で10.2%増加, 前々年同月比18.9%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



Ⅲ 中小企業の動向(令和4年7月)

【広島県中小企業団体中央会（令和4年8月15日時点）】

1 概況

原材料等の価格高騰、物流停滞による部材等の調達難、慢性的な人手不足といった長期的な懸念事項に加えて第7波となる新型コロナウイルス感染拡大が発生するなど、依然として見通しの立たない苦しい状況が続いており、今後の動向を注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比▲7.4%と13ヶ月連続での前年割れとなる一方で、マツダ車は35.6%増加となった。また、マツダ車の海外販売合計台数に関しては、前年同月比▲26.9%と、11ヶ月連続の前年比マイナスとなった。

木材業界では、全国住宅着工戸数は前年同月比▲2.2%、広島県内の着工戸数は前年同月比10.9%増加となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく

2 景況感・景況感の変化

業種	6月の景況感	7月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	普通	やや悪い
木材	普通	やや悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	やや悪い	やや悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	普通
金属製品	やや悪い	普通

業種	6月の景況感	7月の景況感
一般機械器具	普通	やや悪い
電気機械器具	やや好況	やや好況
自動車部品	普通	普通
造船	普通	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	6月	7月	増減
好況	0	0	0
やや好況	1	1	0
普通	6	4	▲2
やや悪い	12	14	2
悪い	1	1	0

3 前月(6月)から変化のあった主な業種

業種	6月の景況感	7月の景況感	変化の理由・状況
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	普通	<p>・鋼材費及びその他輸入に依る商品(石油、石炭、天然ガス、希少金属)等の高騰が要因となり原価が上昇。各社共に価格への転嫁が遅れ気味である。</p> <p>【軀鉄鋼協同組合連合会】</p>
繊維・衣服	普通	やや悪い	<p>・7月は、生産が少ないが在庫は増加している。コストアップは、原材料の価格アップにより、当面続くのではと考える。</p> <p>・コロナの影響が続くようであれば、コストアップとの両面で厳しい状況が予想される。エネルギーコストが今後どうなるか心配である。</p> <p>【一般財団法人広島県織物工業会】</p>
木材	普通	やや悪い	<p>・県内の今年6月の着工戸数は1,503戸で、対前年同比+10.9%、うち持家は404戸で▲8.8%、貸家は594戸で+11.4%、分譲は501戸で+33.6%であり、県全体の住宅着工動向前年同月比は11カ月連続で増加した後、3月に減少したものの3カ月連続の増加に戻った。</p> <p>・地域別では呉市、東広島市、福山市など9市が増加したものの、この所プラス基調で推移していた広島市が減少に転じている。ウッドショックによる木材価格の高止まり、建築資材高騰等で住宅建築の価格上昇などがある中プレカット工場は稼働率の低下も見られ、円安の進行、燃料費高騰による運賃や電気代など周辺環境の悪化が懸念されることも加え、引き続き今後の需給動向を注視していく必要がある。</p> <p>【広島県木材協同組合連合会】</p>
一般機械器具	普通	やや悪い	<p>・出荷時期の変更や、スポット受注の発生などが要因となり、売上は前月比40%増加、前年同月比45%増加となった。また、工作機械の受注額には変化がなく、モーターをはじめとする部材の調達に長期化したまま改善の兆しはなし。</p> <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】</p>
造船	普通	やや悪い	<p>・県内、2500総トン以上の令和4年6月の船舶建造許可実績は2隻、114,250総トンであった。(前月3隻142,190総トン。前年同月2隻、131,000総トン。)</p> <p>・我が国の造船業は、受注低迷が続く、一時は危機的な水準にまで落ち込み。昨年初めからの海運市況の回復から造船需要も回復傾向に転じ、手持工事量もある程度回復している。</p> <p>・しかし、足元の状況は、鋼材などの資機材価格高騰、ウクライナ情勢によるサプライチェーンの混乱等で舶用品の納期遅れが深刻化する等、依然として厳しい状況が続いている。</p> <p>【中国地区造船協議会】</p>

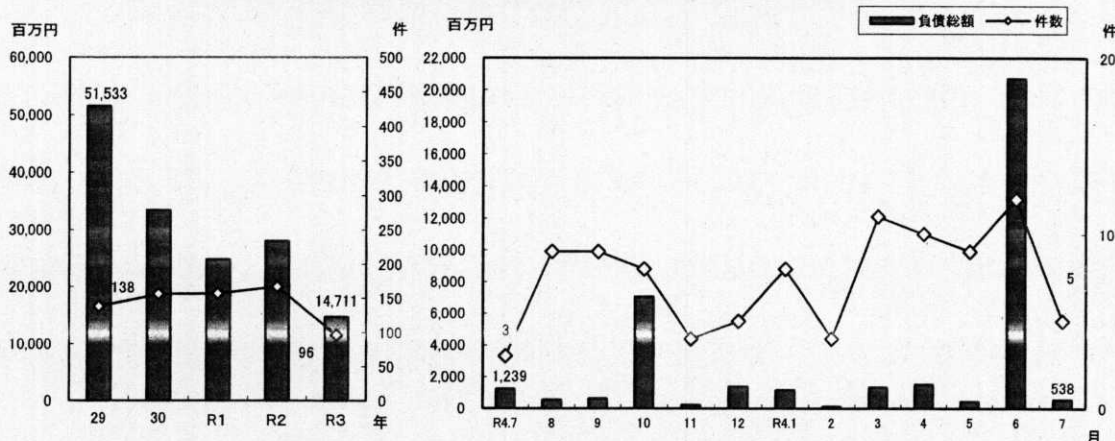
IV 企業倒産状況(令和4年7月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が5件、総額5億3,800万円であった。
- ・前月比で件数は7件減少し、負債総額は201億7,200万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は2件増加し、負債総額は7億100万円減少した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生はなかった。

区 分	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月
件 数 (前年同月比)	9件 (18.2%減)	12件 (7.7%減)	5件 (66.7%増)
負債総額 (前年同月比)	429百万円 (62.6%減)	20,710百万円 (2117.3%増)	538百万円 (56.6%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別・月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、製造業、卸・小売・飲食業が各2件、建設業が1件となった。
負債総額では、製造業、建設業、卸・小売・飲食業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が5件であった。

4 今後の見通し

新型コロナウイルス感染拡大後の各種支援策などの効果によって倒産は抑制され、令和4年上半期(1月～6月)は54件(前年比4件減)で昭和40年集計開始以来の年上半期で最小の件数となった。令和4年7月度の倒産件数は5件と前年同月比2件増となったものの、令和2年5月以降27ヵ月連続で20件以下と低水準が続いている。

7月中旬以降、広島県内でも新型コロナウイルスの新規感染者数が急増するなか、社会経済活動と感染対策の両立を維持するため、現時点で行動制限の要請はないが、各個人や企業の感染拡大防止の取り組みなどで集客が落ち込んでいる飲食店が増えている。また、今後の夏のレジャーや帰省などで回復が期待されていた観光関連業界も取り巻く環境は悪化しており、これまで感染拡大の影響を諸に受けていた業界の苦境は続いている。

実質無利子・無担保融資(ゼロ・ゼロ融資)などの制度融資は、赤字補填資金として大きな役目を果たしたが、その資金繰り支援策によって過剰債務に陥っている先も少なくない。「業績回復が遅れている企業中心に返済猶予(リスケ)を要請する企業が増えてきている」(金融機関)との声も聞かれるなど、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた先の動向には目が離せない。

引き続き、原材料・資材価格が上昇傾向にあることに加えて、今後最低賃金も引き上げられることとなるが、中小零細規模の企業にとっては価格転嫁は容易ではなく、体力の乏しい企業の息切れが押し上げる形で年末にかけて倒産件数が増勢に転じていく可能性が高まっている。

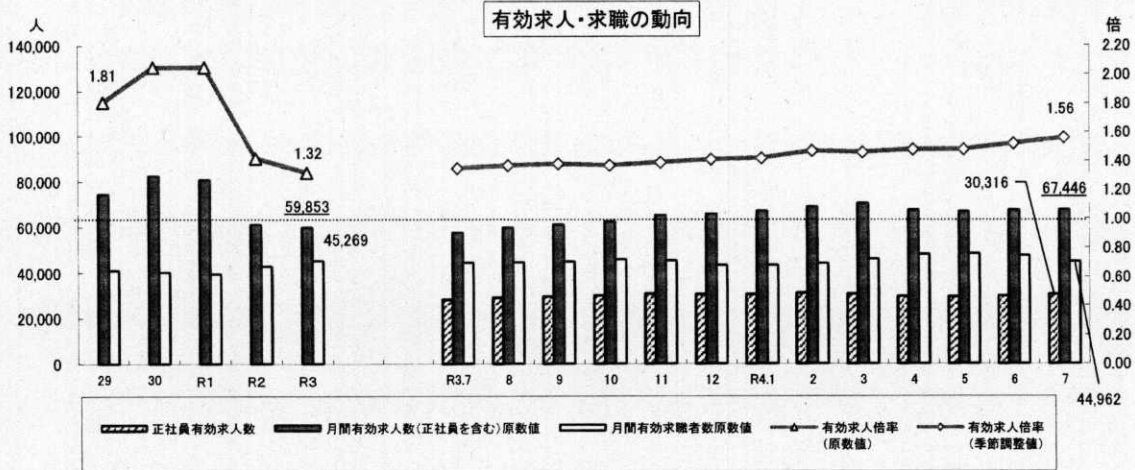
【(株)東京商工リサーチ(8月15日時点)】

V 最近の雇用失業情勢(令和4年7月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月
有効求人倍率(季節調整値) (前月比)	1.48倍 (±0ポイント)	1.52倍 (+0.04ポイント)	1.56倍 (+0.04ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.05倍 (+0.03ポイント)	1.09倍 (+0.04ポイント)	1.15倍 (+0.08ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

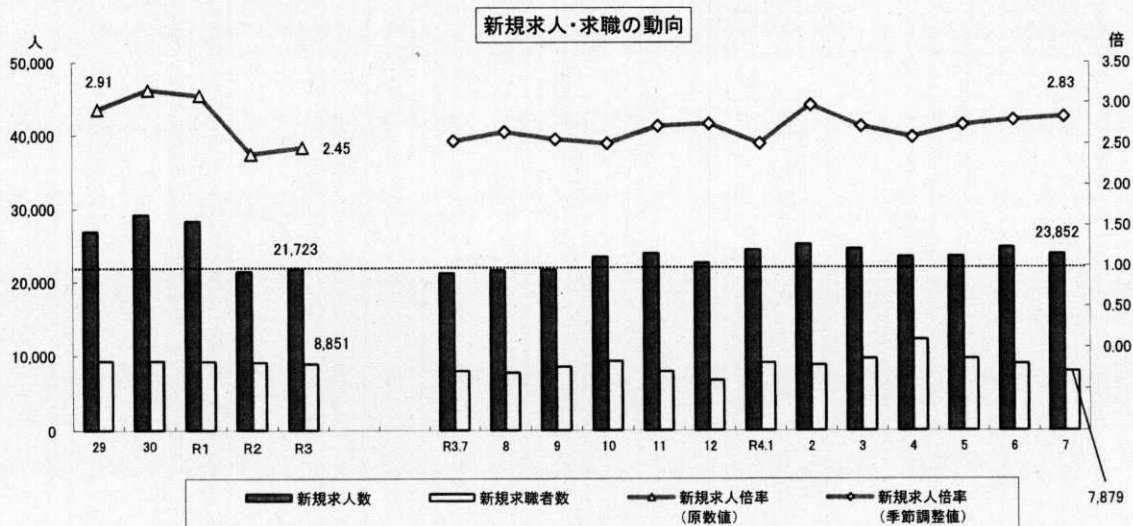
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月
新規求人倍率(季節調整値) (前月比)	2.73倍 (+0.15ポイント)	2.79倍 (+0.06ポイント)	2.83倍 (+0.04ポイント)

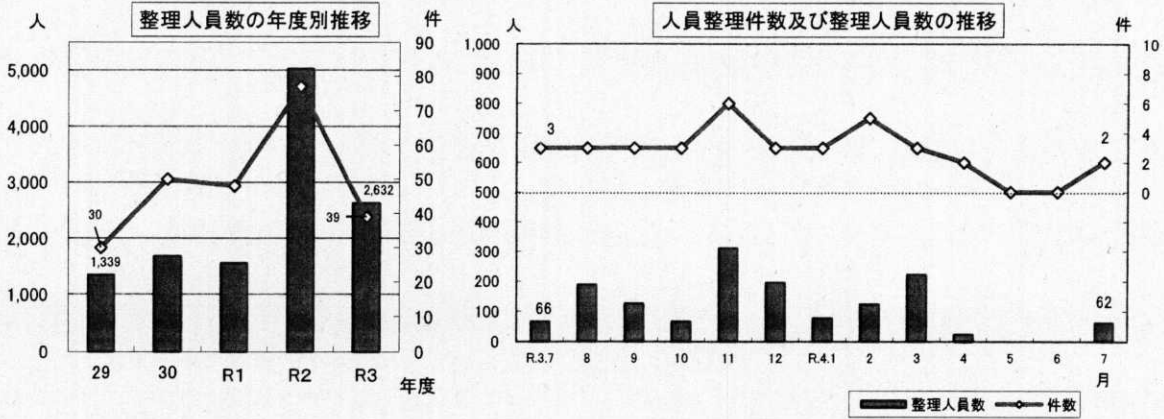
【広島労働局】



(注) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月
件数 (前年同月比)	0件 (▲ 2件)	0件 (▲ 3件)	2件 (▲ 1件)
整理人員 (前年同月比)	0人 (▲ 657人)	0人 (▲ 509人)	62人 (▲ 4人)

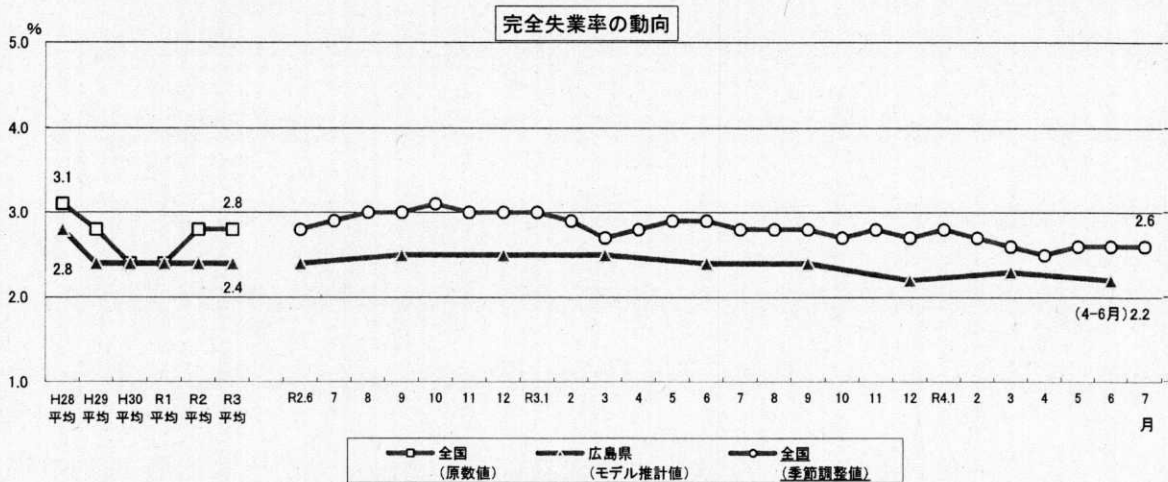


4 完全失業率の状況

区 分	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月
全国完全失業者数 (前年同月比)	191万人 (▲22万人)	186万人 (▲21万人)	176万人 (▲17万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.6% (+0.1ポイント)	2.6% (±0ポイント)	2.6% (±0ポイント)

区 分	令和3年		令和4年	
	10~12月平均	1~3月平均	4~6月平均	
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.2% (▲0.3ポイント)	2.3% (▲0.2ポイント)	2.2% (▲0.2ポイント)	

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。